

2012年3月期第3四半期 決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2012年2月9日

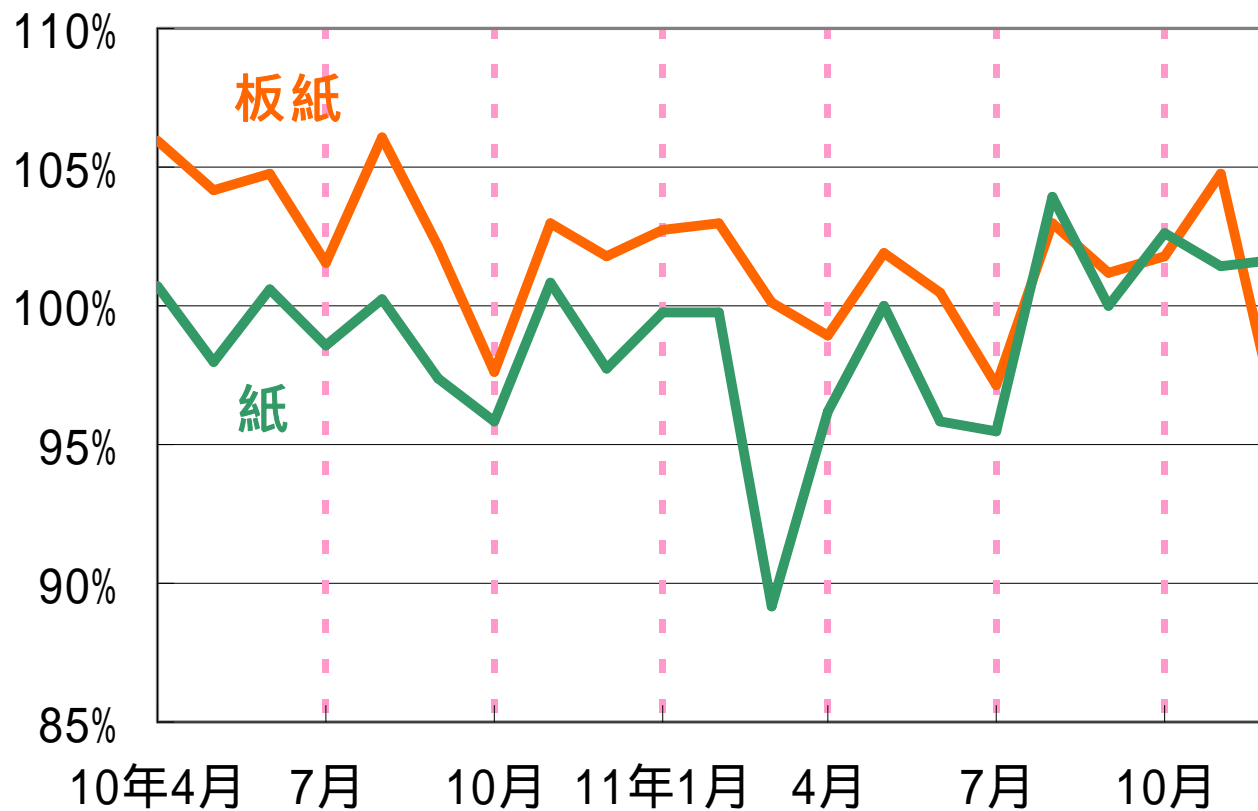
株式会社日本製紙グループ本社



- (1) 2011年10～12月 事業環境の概要
- (2) 2012年3月期第3四半期 決算概要
- (3) 2012年3月期 業績見通し
- (4) 中期復興計画の進捗状況
- (5) 主なトピックス

震災後の需要減からは回復

内需(国内メーカー出荷量 + 輸入量) 対前年比



出所: 日本製紙連合会

(1) 事業環境の概要 - メーカー国内出荷量



輸入紙影響もあり、紙出荷量は前年比で減少

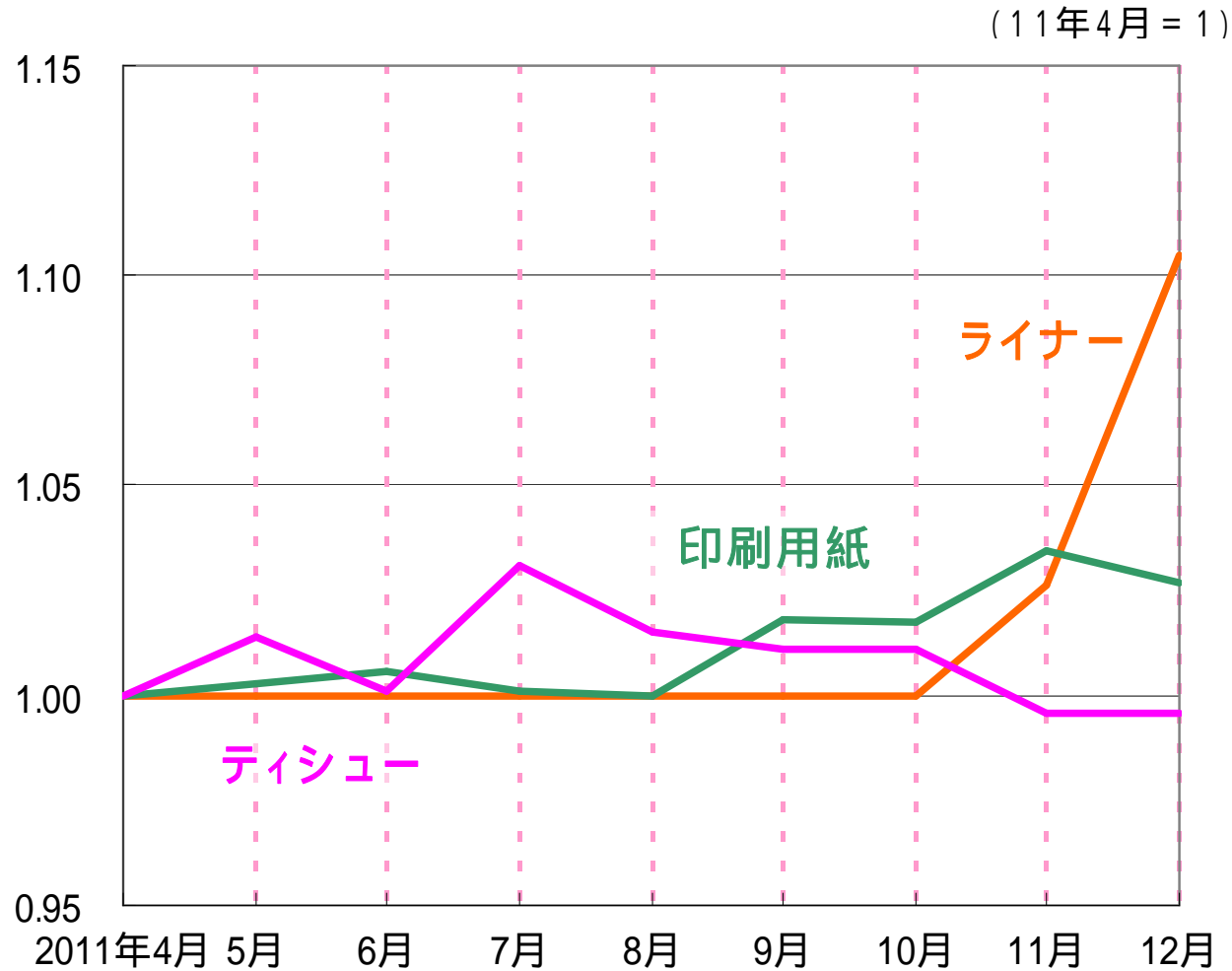
2011年10月-12月 メーカー国内出荷量

		数量(千ト)	前年同期比
紙	新聞巻取紙	836	0.8%
	印刷・情報用紙	2,104	3.7%
	塗工印刷用紙	1,191	5.3%
	非塗工 / 特殊印刷用紙	562	0.5%
	情報用紙	351	3.1%
	その他の紙(包装・衛生・雑種紙等)	844	4.2%
合計		3,784	3.2%
板紙	段ボール原紙	2,307	1.8%
	紙器用板紙他	594	0.3%
	合計	2,901	1.3%
紙・板紙合計		6,685	1.3%

(1) 事業環境の概要 - 品種別価格動向



印刷用紙、板紙の価格修正は浸透



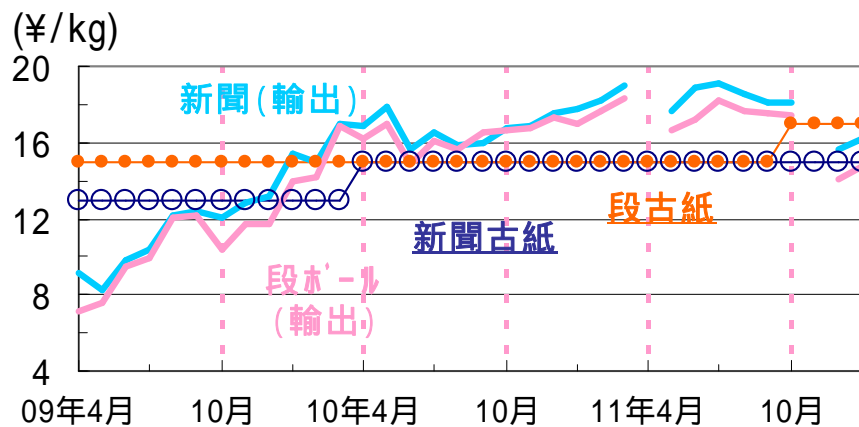
出所: 日本銀行「国内企業物価指数」

(1) 事業環境の概要 - 主要原燃料価格動向

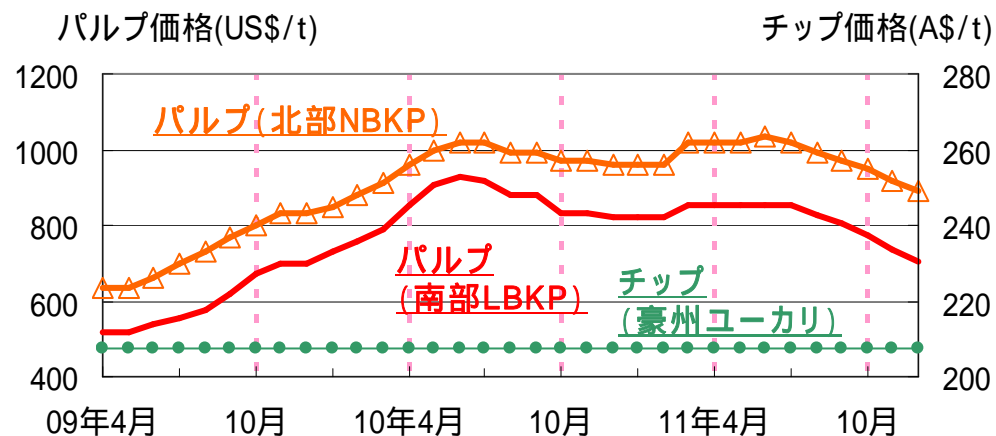


原燃料価格は依然高水準で推移

古紙



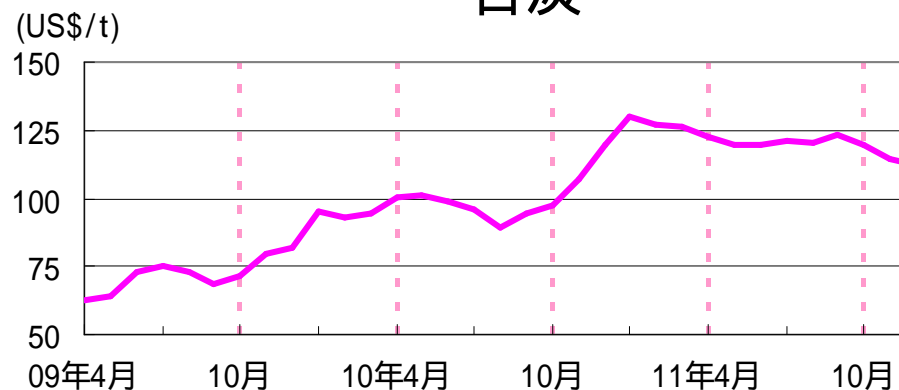
チップ・パルプ



原油(ドバイ)



石炭



出所: 古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、Pulp&Paper Week、原油 = Platts、石炭 = Global Coal Index

(2) 決算概要 - ハイライト



(単位:億円)	FY2011 3Q実績	増減 (対前年)	FY2010 3Q実績
<売上高>	2,679	152	2,830
<営業利益>	102	7	95
<経常利益>	91	1	90
<四半期純損益>	6	59	53

- 営業利益、経常利益とも前年を上回り、第1四半期、第2四半期との比較でも改善。
- 特別損失として、被災工場の操業停止中の固定費34億円、事業構造改革費用49億円を含む101億円を計上。

(2) 決算概要 - セグメント別概況

前年比減収も、主に紙パルプ事業で収益は改善

(単位:億円)

	FY2010				FY2011			対前年 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
(上段:売上高)								
(下段:営業利益)								
紙パルプ	2,228	2,236	2,250	2,083	1,983	2,058	2,090	160
	65	50	54	63	46	43	64	10
紙関連	227	240	225	251	236	246	230	5
	19	21	20	20	24	17	20	1
木材・建材・ 土木建設関連	128	139	148	151	149	132	153	5
	3	2	8	6	3	3	7	1
その他	147	169	207	167	134	177	205	2
	1	7	14	2	3	10	12	2
合 計	2,730	2,784	2,830	2,653	2,502	2,613	2,679	151
	88	80	96	92	71	73	102	6

(2) 決算概要 - 紙・板紙販売数量

生産能力の制約により紙出荷量は減少

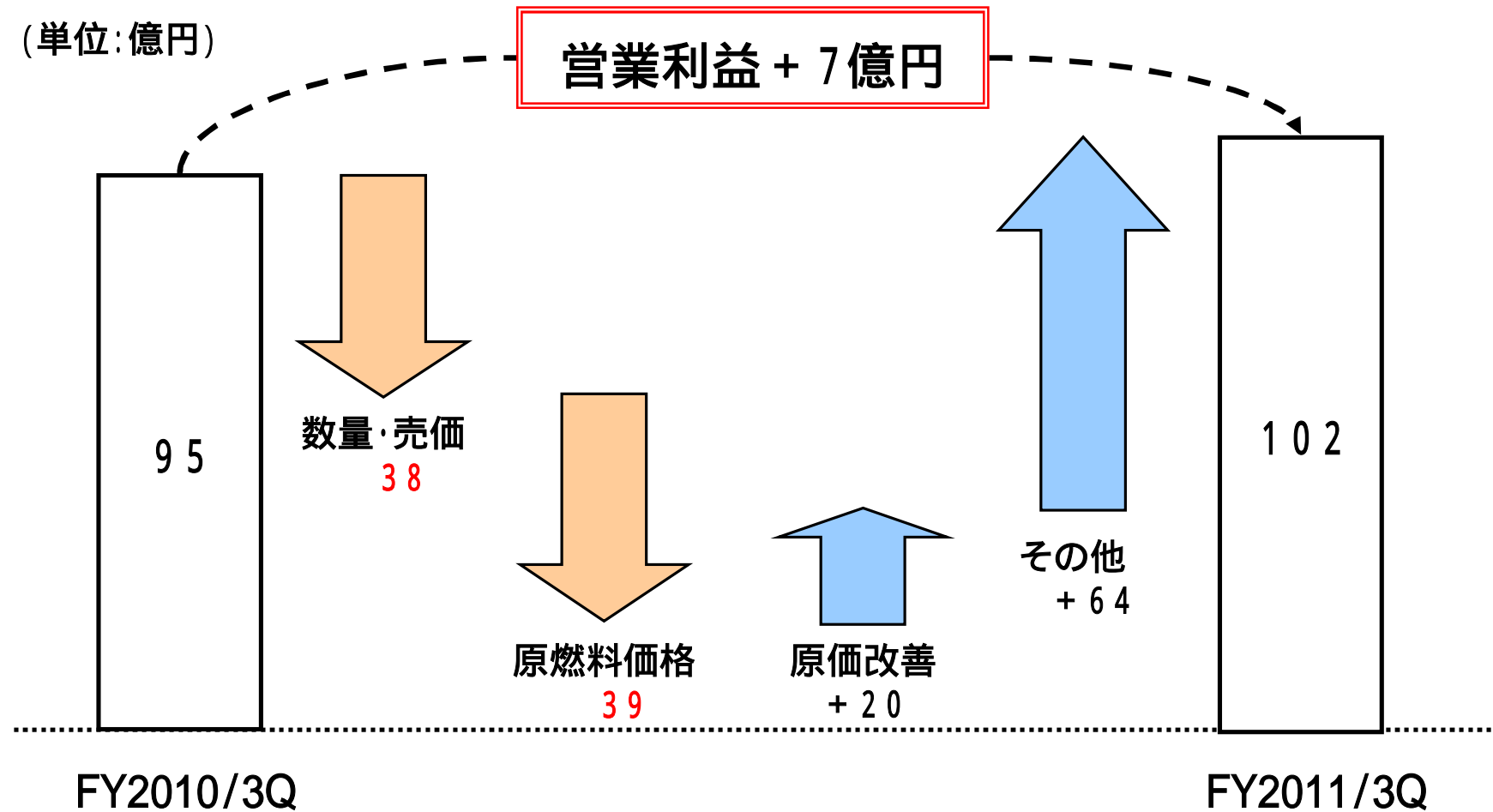
(単位:千トン)

		FY10/3Q	FY11/3Q	前年同期比
紙	新聞用紙	308	311	1.0%
	印刷・情報用紙	699	581	16.9%
	塗工紙	388	293	24.4%
	非塗工紙	153	140	8.5%
	情報用紙	158	148	6.8%
	包装・雑種紙他	95	94	0.6%
	国内	1,102	986	10.5%
	輸出	103	12	88.7%
紙合計		1,205	998	17.2%
板紙	段ボール原紙	300	308	2.8%
	紙器用板紙他	93	93	0.1%
	国内	393	401	2.1%
	輸出	15	14	6.9%
	板紙合計	408	416	1.8%
紙・板紙合計		1,613	1,414	12.4%

(2) 決算概要 - 営業利益増減要因(対前年同期比)

原燃料価格上昇により利益回復は限定的

(単位:億円)



() 固定費の特損への振替、償却費減等

(3)業績見通し



(単位:億円)	FY2010	FY2011	増減 (対前年)
<売上高>	10,998	10,550	448
<営業利益>	356	350	6
<経常利益>	316	50	266
<当期純損益>	242	440	198

2012年3月期の業績見通しにつきましては
2011年11月2日発表数値から変更ありません

(4) 復興計画の進捗状況 - 石巻工場の復旧(1)

復旧作業はスケジュール通り進行中

9 / 16
8号抄紙機操業再開



11 / 16
N4号抄紙機・4号塗工機操業再開



11 / 7
微粉炭ボイラー稼動



11 / 30
石巻港にチップ船入港



(4) 復興計画の進捗状況 - 石巻工場の復旧(2)

今年度中に製造能力の約 8 割が復旧予定



設備の復旧状況

Yellow box	復旧済み	Magenta box	2012年度上期中に復旧
Cyan box	2011年度中に復旧		



(4) 復興計画の進捗状況 - 今後のスケジュール



洋紙市場への影響を考慮し、生産を調整

	石巻工場の復興			復興計画による設備停機			
	抄紙機	塗工機	能力	工場	抄紙機	塗工機	能力
既に完了	2台	1台	+ 24万t	石巻	2台	1台	24万t

2011年度下期							
2012年2月下旬	1台		+ 15万t	岩沼 富士	1台 1台	1台 1台	10万t 14万t
2012年3月初旬	1台		+ 27万t	吉永	1台		9万t
2012年3月下旬				岩国		1台	1万t
2012年度上期	2台	1台	+ 20万t	富士	3台		29万t
今後の能力増減			+ 62万t				63万t

岩沼、富士工場では、洋紙市場の動向を考慮し早期休転を実施。

(5) 主なトピックス

< 2011年 >

- 11月16日 石巻工場でN4号抄紙機・4号塗工機の運転を再開
- 11月30日 石巻港に木材チップ運搬船が入港
- 12月 1日 エネルギー事業推進室を設置
高付加価値セルロース用新パルプマシン竣工
(日本製紙ケミカル江津事業所)
- 12月 7日 液晶ディスプレイ用光学フィルム新塗工機竣工
(日本製紙ケミカル東松山事業所)
- 12月 9日 釧路工場における溶解パルプ生産を決定

< 2012年 >

- 1月17日 日本製紙クレシア岩国工場の生産設備停止を発表
- 1月24日 新形状の紙パック「NP-PAK+R」を発表



注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

(株)日本製紙グループ本社